

審議第3号 デマンドタクシー市外便の中間評価と令和5年度の運行について

＜協議事項＞

市外便については、運行内容を見直したうえで、令和5年度も実証運行を継続する。

1 デマンドタクシー市外便の経過

- 平成24年4月から、デマンドタクシー（市内便）の運行を開始。
- その後、デマンドタクシーを市外の医療機関へも運行してほしいという市民要望の高まりを受け、平成31年4月からデマンドタクシー市外便の実証運行を開始。
（市外便運行先：きぬ医師会病院、茨城西南医療センター病院）
- 市外便の次年度の運行については、本会議において、年度途中で中間評価を行い、協議することとしている。

※実証運行後の事業継続・中止（見直し）ライン ⇒ 1便あたり平均利用者2人以上

2 利用状況

【別添1】のとおり

▼1便あたり平均利用者数

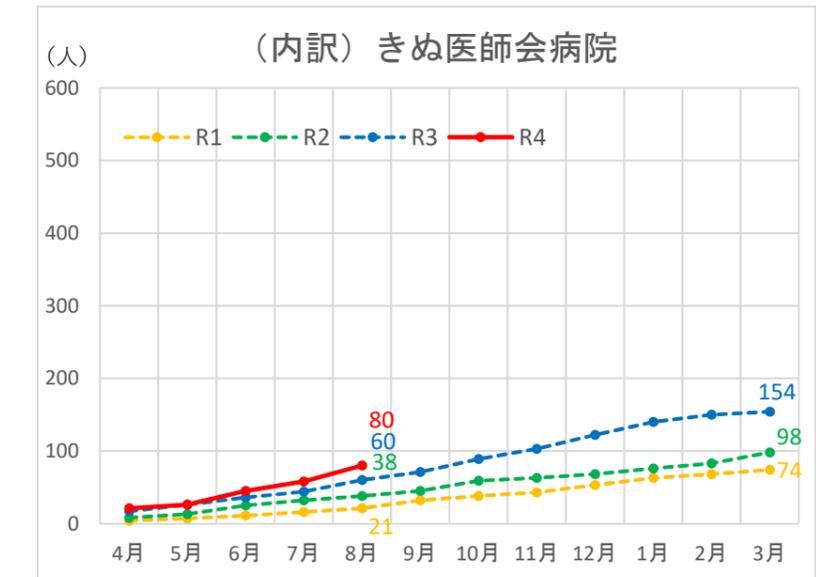
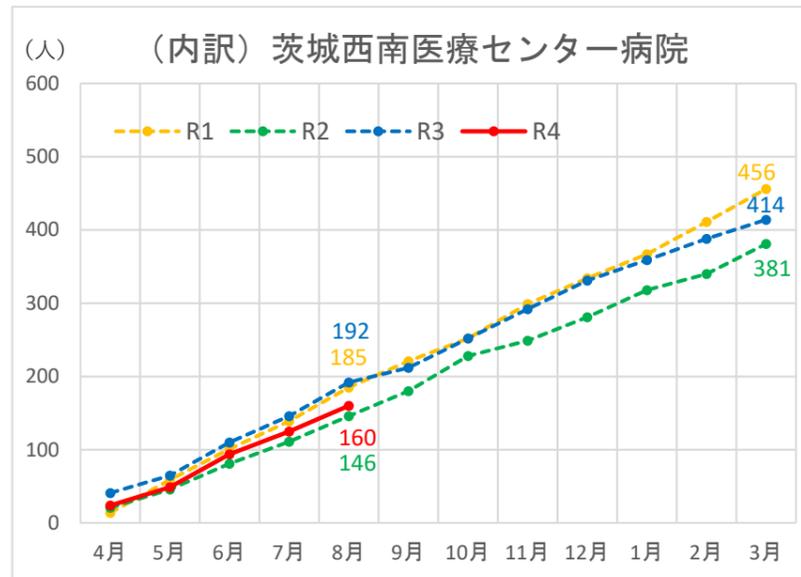
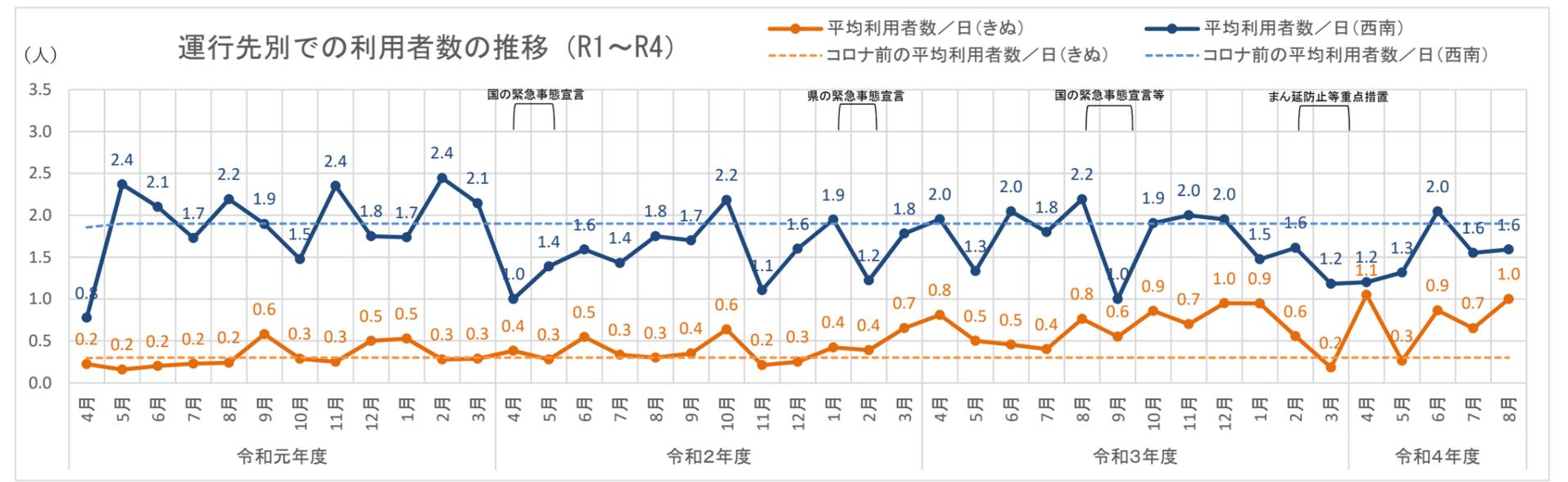
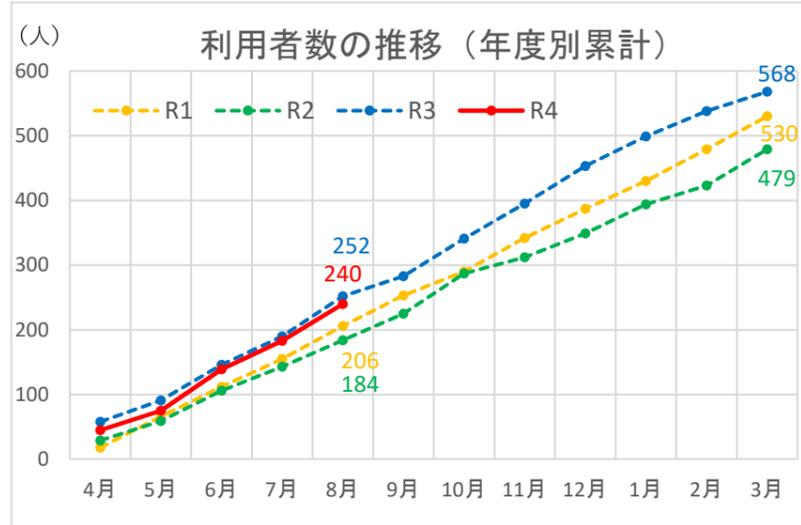
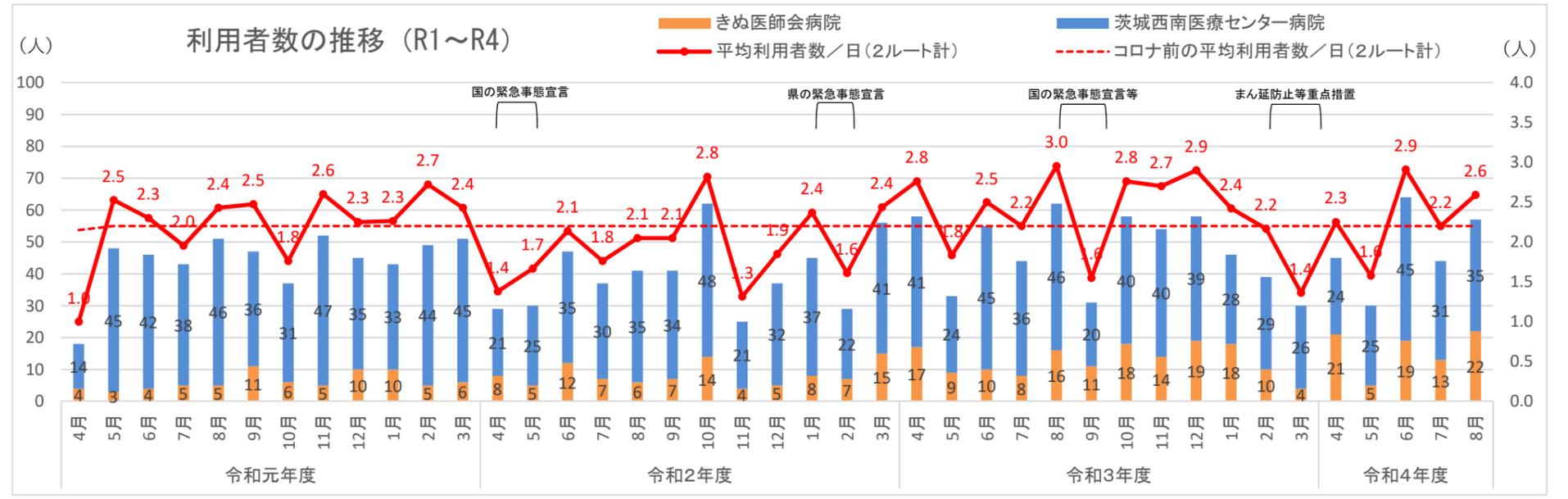
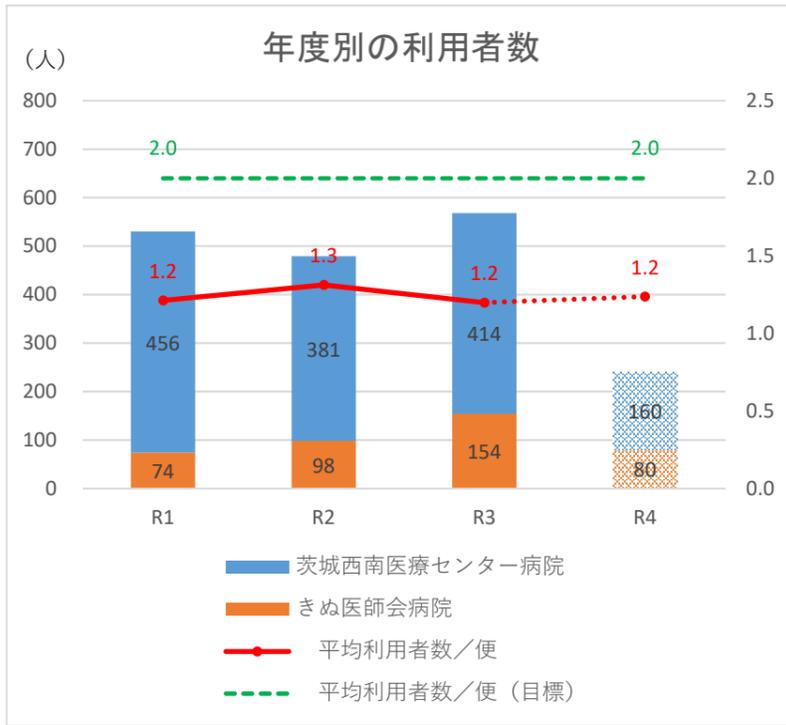
事業継続・中止 （見直し）ライン		R1実績	R2実績	R3実績	R4実績 （4～8月）
2.0人/便 以上	⇒	1.2人/便	1.3人/便	1.2人/便	1.2人/便
（内訳）きぬ医師会病院		1.1人/便	1.0人/便	1.1人/便	1.1人/便
西南医療センター		1.2人/便	1.4人/便	1.3人/便	1.3人/便

3 中間評価

- 運行を開始した令和元年度の利用者数と比較し、令和2年度は約10%減少、令和3年度は約7%増加した。令和4年度については、7月時点の累計で、令和3年度と同程度の利用者数となっている。
- 乗合率は20%程度と低く、利用者1人あたりの市負担額（R3）は22,000円を超えている。
- 事業継続・中止（見直し）ライン（2.0人/便 以上）を達成していないため、運行内容を見直す等の対策が必要である。
- 運行先別にみると、利用者の約7割は「茨城西南医療センター病院行」であるが、「きぬ医師会病院行」も年々増加している。

4 今後について

- ① 令和5年度は、運行内容を見直したうえで実証運行を継続する
 - ・需要に合わせた運行時間への変更
 - ・運行先の追加（水海道西部病院） 等
- ② 新たな指標の設定
 - ・現在の事業継続・中止(見直し)ラインは、稼働した「1便あたりの平均利用者数」となっており、指標として適当ではないため、新たな指標を設定を検討する。
(現在の指標だと、1年で1便だけしか稼働しなくても、それに2人以上乗車すれば、目標達成したことになってしまうため)
- ③ 利用促進策の検討・実施
 - ・イベント等でのブース設置、出張登録受付
 - ・新規登録者への無料乗車券の配付の検討
 - ・広報誌や市 SNS 等を活用した宣伝強化 等



年度別実績一覧	R1	R2	R3	R4 (4~8月)
延べ利用者数 (人)	530	479	568	240
平均利用者数/日 (人)	2.2	2.0	2.3	2.3
平均利用者数/便 (人)	1.2	1.3	1.2	1.2
稼働率 (日数) (%)	41.0%	35.6%	47.3%	44.7%
稼働率 (便数) (%)	11.5%	9.4%	12.2%	11.8%
乗合率 (%)	19.7%	28.2%	18.1%	22.2%
運行経費 (千円)	14,687	12,773	13,096	
運賃収入 (千円)	567	401	514	
収支率 (%)	3.9%	3.1%	3.9%	
市負担額 (千円)	14,120	12,372	12,582	
利用者1人当たりの市負担額 (円)	26,642	25,829	22,152	